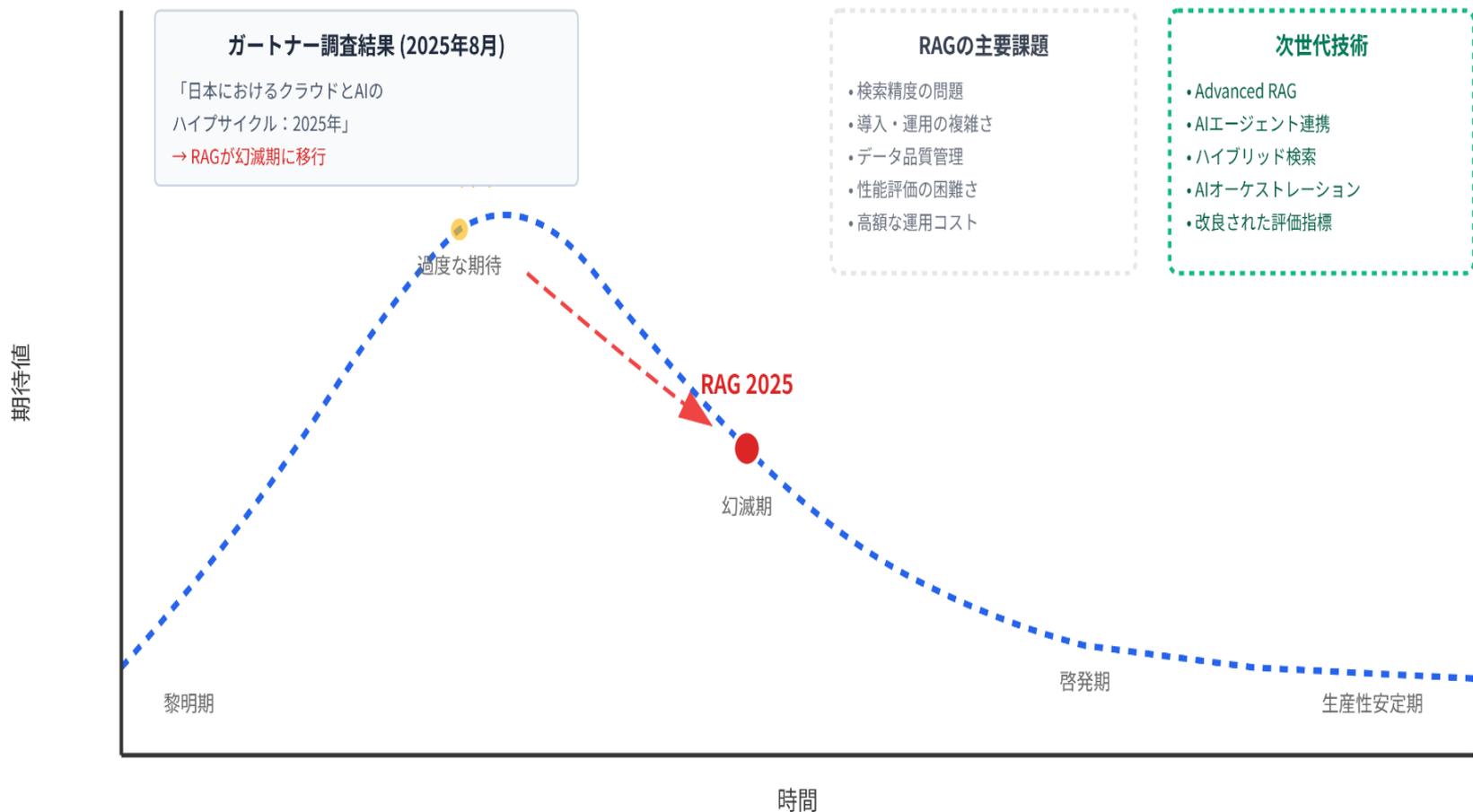


# 「RAG」が幻滅期に入った

Felo AI

## RAGの幻滅期：ガートナー・ハイプサイクル分析



要約: RAGは過度な期待から現実的な課題認識フェーズへ移行。技術成熟に向けた重要な通過点として、冷静な評価と戦略的アプローチが必要

## 概要

2025年8月、米調査会社ガートナーは「日本におけるクラウドとAIのハイプ・サイクル：2025年」を発表し、生成AIの精度向上技術として注目されてきた「RAG（検索拡張生成）」が「幻滅期」に入ったことを明らかにした[84] [88]

[124]。これは、RAG に対する初期の過度な期待が剥落し、実際のビジネス導入における技術的・運用的課題が顕在化したことを示唆している[90][101][108]。

RAG は、大規模言語モデル (LLM) が外部の信頼できる情報源をリアルタイムで参照することで、ハルシネーション (もったもらしい嘘) を抑制し、回答の正確性や最新性を高める技術として大きな期待を集めてきた[42] [45] [52]。しかし、多くの企業が導入を試みる中で、「検索精度の低さ」「導入・運用の複雑さと高コスト」「データ品質管理の難しさ」「性能評価の困難さ」といった課題が浮き彫りになった[130] [132] [178]。特に、RAG は「ハルシネーションの万能薬」ではなく、その効果は参照するデータの質と検索技術の精度に大きく依存するという現実が広く認識され始めた[103][205][211]。

幻滅期は技術の終焉ではなく、むしろ過熱した期待が沈静化し、技術の本質的な価値と現実的な活用法が探求される重要な成熟段階である[15][27][87]。現在、検索精度を高める「Advanced RAG」や、自律型 AI エージェントとの連携など、課題を克服するための次世代技術開発が活発化している[137][192][225]。企業は、この幻滅期を RAG の真の可能性を見極める好機と捉え、明確な目的意識と現実的な期待値を持って導入戦略を再構築することが求められる。

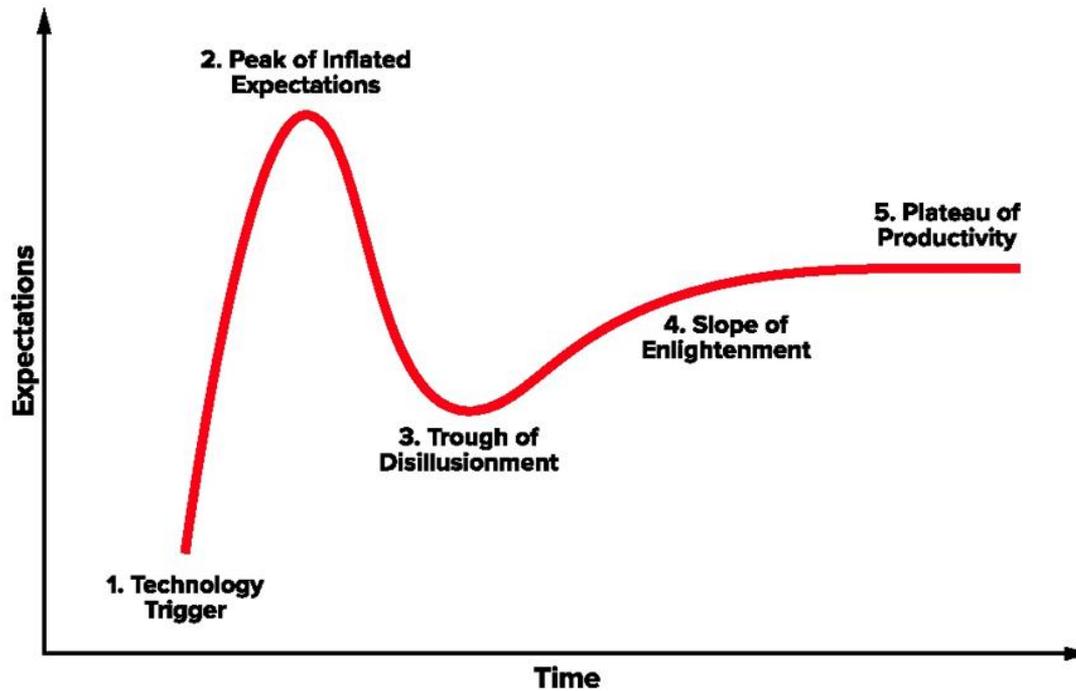
## 詳細レポート

### ガートナー・ハイブ・サイクルと RAG の現在地

ガートナーのハイブ・サイクルは、新技術が登場してから社会に浸透し、成熟するまでの典型的なパターンを視覚的に示したモデルである[4][9][22]。このモデルは、技術の成熟度と市場の期待値を時間の経過とともにプロットし、以下の 5 つのフェーズで構成される[11][20][100]。

1. **黎明期 (Innovation Trigger):** 技術的なブレークスルーが発生し、メディアの注目を集め始める段階[1][11]。
2. 「過度な期待」のピーク期 (**Peak of Inflated Expectations**): 成功事例が喧伝され、非現実的な期待が最高潮に達する段階[1][11]。
3. **幻滅期 (Trough of Disillusionment):** 期待に応えられず、実装の失敗や課題が露呈し、関心が急速に薄れる段階[3][6][102]。
4. **啓発期 (Slope of Enlightenment):** 技術の利点と実用的な適用方法が理解され始め、現実的な期待とともに評価が回復する段階[1][16][226]。
5. **生産性の安定期 (Plateau of Productivity):** 技術が主流となり、市場で広く受け入れられ、安定した価値を提供する段階[11][15]。

# Gartner Hype Cycle



2025年8月にガートナー・ジャパンが発表した「日本におけるクラウドとAIのハイプ・サイクル」では、これまで「過度な期待」のピーク期にあったRAGが、新たに「幻滅期」へと移行したことが示された[84][88][124]。これは、2024年時点ではRAGがピーク期に位置づけられていたことからの大きな変化であり[12][201][218]、多くの企業が実用化に向けて取り組みを進めた結果、その理想と現実のギャップに直面している現状を反映している[132][142]。

# 生成AIのビジネス活用で注目される

検索拡張生成

# RAGとは

仕組みや活用例、  
精度向上のノウハウを紹介



## RAG（検索拡張生成）の基本概念

RAG（Retrieval-Augmented Generation）は、LLM の能力を外部情報で補強・拡張するための AI フレームワークである [50][57][67]。その目的は、LLM が元々持っている学習データだけでは対応できない課題、特に以下の 3 点を解決することにある [41][45][72]。

- **ハルシネーションの抑制**: LLM が事実に基づかない情報を生成する現象を、信頼できる情報源を参照させることで防ぐ [200][202][204]。
- **情報の最新性の担保**: 学習データが静的であるため最新情報に弱い LLM に対し、リアルタイムで外部データベースから最新情報を取得させる [42][50][61]。
- **専門性・固有情報への対応**: 社内文書や専門データベースなど、公開されていない特定の知識体系に基づいた回答を生成させる [46][57][75]。

**RAG の仕組み** RAG のプロセスは、大きく「検索（Retrieval）」と「生成（Generation）」の 2 つのフェーズに分けられる [62][152]。

1. **データ準備（Indexing）**: 事前に、社内文書やデータベースなどの情報を小さな塊（チャンク）に分割し、それぞれの内容を数値ベクトルに変換して「ベクトルデータベース」に格納する [38][49]。
2. **検索（Retrieval）**: ユーザーから質問（プロンプト）が入力されると、その質問もベクトルに変換し、ベクトルデータベース内で類似度が最も高い関連情報を検索・取得する [38][49][61]。
3. **生成（Generation）**: 取得した関連情報を元の質問文に付加して、LLM への新しいプロンプトを作成する。LLM は

この拡張されたプロンプトに基づいて、より正確で文脈に沿った回答を生成する[\[53\]](#)[\[56\]](#)[\[64\]](#)。



この仕組みにより、RAG は LLM を再学習（ファインチューニング）させることなく、低コストかつ迅速に知識をアップデートできるという利点を持つ[\[46\]](#)[\[59\]](#)[\[68\]](#)。

## RAG が直面する「幻滅」の正体：技術的・運用的課題

RAG が幻滅期に入った直接的な原因は、多くの導入プロジェクトが期待通りの成果を上げられず、ROI（投資対効果）の低迷や満足度の低下を招いていることにある[\[83\]](#)[\[130\]](#)。その背景には、複数の根深い課題が存在する。

**1. 検索精度の問題** RAG の回答品質は、検索フェーズの精度に大きく依存する[\[174\]](#)[\[180\]](#)。しかし、適切な情報を的確に検索することは容易ではない。

- **不適切な情報検索:** ユーザーの質問の意図を正確に理解できず、関連性の低い情報を取得してしまうと、回答の質が著しく低下する[\[177\]](#)[\[183\]](#)。
- **データの問題:** 参照する文書のデータ形式が不統一であったり、情報が古かったりすると、検索精度が低下し、結果的に不正確な回答につながる[\[103\]](#)[\[195\]](#)[\[197\]](#)。

**2. 導入・運用の複雑さとコスト** RAG システムの構築と運用は、多くの企業が想像するよりも複雑でコストがかかる。

- **高い技術的ハードル:** データの分割（チャンキング）方法の最適化、ベクトル化モデルの選定、検索アルゴリズムのチューニングなど、高度な専門知識と試行錯誤が必要となる[\[186\]](#)[\[192\]](#)。
- **高額な運用コスト:** ベクトルデータベースや LLM の API 利用料など、従量課金制のクラウドサービスのコストが想

定以上にかさむケースが多い[173][182][191]。これにより、費用対効果が見えにくくなっている[185]。

### 3. データ品質とセキュリティ 参照するデータソースの管理も大きな課題である。

- **品質依存性:** RAG は参照元データが正しいという前提で動作するため、データ自体に誤りが含まれている場合、誤った情報を生成してしまう[51][176][186]。データのファクトチェックや定期的なメンテナンスが不可欠となる[51]。
- **セキュリティリスク:** 検索対象のデータベースに機密情報や個人情報が含まれている場合、意図せず情報が漏洩するリスクがある。アクセス制御などの厳格なセキュリティ対策が求められる[51]。

### 4. 性能評価の困難さ 構築した RAG システムの性能を客観的に評価し、改善サイクルを回すことが難しいという問題もある[172][181]。回答の「正確性」や「関連性」を定量的に測定するための標準的な指標やツールがまだ確立されておらず、多くの企業が手探りで評価を行っているのが現状である[184][187][190]。

これらの課題が複合的に絡み合い、RAG は「導入すれば簡単にハルシネーションが解決する」という過度な期待を裏切る結果となり、幻滅期へと至った[103][205][211]。

## 「幻滅期」の先へ：啓発期への移行に向けた展望

幻滅期は、技術が実用化に向けて成熟するための重要な通過点である[15][27]。RAG もまた、課題克服に向けた技術革新が進むことで、次の「啓発期」へと移行していくと期待される。

### 技術的進化の方向性

- **Advanced RAG (高度な RAG) :** 従来の RAG の課題を解決するため、より洗練された手法が開発されている[137][192]。これには、キーワード検索とベクトル検索を組み合わせる「ハイブリッド検索」、ユーザーの質問をより適切な形に書き換える「クエリ変換」、検索結果を再評価して順位付けを最適化する「再ランキング」などの技術が含まれる[192]。
- **AI エージェントとの融合:** RAG は、自律的にタスクを計画・実行する「AI エージェント」の能力を支える基盤技術としての役割が期待されている[199][225]。エージェントが外部の知識を参照し、長期的な記憶を持つためのメカニズムとして RAG が活用されることで、より高度な自律システムの実現が見込まれる[225]。
- **AI オーケストレーション:** 複数の AI モデルやツールを連携させて複雑なワークフローを自動化する「AI オーケストレーション」において、RAG は信頼性の高い情報を提供する重要なコンポーネントとなる[88][97][124]。

### 企業に求められるアプローチ

- **現実的な期待値管理:** RAG は万能の解決策ではないことを認識し、その限界を理解した上で導入目的を明確化することが不可欠である[205][207]。技術に疎い決裁者に対しても、システムの能力と限界を正しく伝え、過度な期待を抑制する必要がある[211]。
- **スモールスタートと ROI 検証:** 全社的な大規模導入を目指す前に、特定のユースケースに絞って小規模な実証実験

(PoC) を行い、費用対効果を慎重に検証することが成功の鍵となる[83][100]。

- **ノウハウの蓄積と人材育成:** RAG を効果的に運用するための知見を社内に蓄積し、専門人材を育成することが中長期的な成功につながる[51][147]。必要に応じて、専門知識を持つ外部パートナーとの連携も有効な選択肢となる[51]。

幻滅期にある技術は、課題が明確になり、現実的な活用法が見え始める時期でもある[15][87]。企業はこの時期を、流行に流されることなく技術の本質を見極め、自社のビジネスに本当に貢献する導入戦略を冷静に策定する好機と捉えるべきである[100][147]。

## 要約

ガートナーの最新ハイブ・サイクルにおいて、RAG（検索拡張生成）は「幻滅期」に移行したことが示された[84][124]。これは、LLM のハルシネーション抑制や精度向上の切り札として過度に期待された RAG が、実際の導入現場で「検索精度の低さ」「導入・運用の高コストと複雑さ」「データ管理の困難さ」といった多くの課題に直面し、期待通りの ROI を達成できていない現状を反映したものである[83][130][132]。

しかし、この「幻滅期」は技術的停滞を意味するものではなく、むしろ過熱したブームが終わり、技術が成熟に向かう健全なプロセスと捉えるべきである[15][27]。現在、検索精度を向上させる「Advanced RAG」や、AI エージェントとの連携といった次世代技術の開発が進んでおり、課題克服への道筋は見え始めている[137][192][225]。

企業にとって重要なのは、RAG を万能薬と見なすのではなく、その能力と限界を正しく理解し、自社の課題解決にどう貢献できるかを冷静に見極めることである[205][211]。幻滅期は、技術の本質を見極め、現実的な期待値に基づいた持続可能な導入戦略を策定するための絶好の機会と言える。

1. [ハイブ・サイクル\(ガートナーの技術評価\) - 株式会社シナプス](#)
2. [「ガートナーのハイブ・サイクル」とは何か？どのように活用 ...](#)
3. [データファブリックについて調べてみた - Zenn](#)
4. [Gartner Hype Cycle Research Methodology](#)
5. [The Trough Of Disillusionment And Four Outliers On ... - Forbes](#)
6. [ガートナー ハイブ・サイクル | ガートナー ジャパン \(Gartner\)](#)
7. [Gartner、「生成 AI のハイブ・サイクル：2024 年」を発表](#)
8. [生成 AI はハイブサイクルの幻滅期に入るのか？ | Hi-Noguchi](#)
9. [Gartner hype cycle - Wikipedia](#)
10. [What Is The Trough Of Disillusionment Phase?](#)
11. [ハイブ・サイクル - Wikipedia](#)
12. [【2024 年版】 Gartner ハイブ・サイクルから見る！注目すべき ...](#)

13. [ハイブ・サイクル | グロービス経営大学院 創造と変革の MBA](#)
14. [Gartner 2024 Hype Cycle for Emerging Technologies ...](#)
15. [Is AI Entering the Trough of Disillusionment? - Automox](#)
16. [ハイブ・サイクルを活用して先進技術をビジネスにうまく ...](#)
17. [Gartner、「日本における未来志向型インフラ・テクノロジーの ...](#)
18. [Hype Cycle for Operation Models, 2024 - Gartner](#)
19. [What Does Trough of Disillusionment Mean in Tech? | VBM](#)
20. [Gartner ハイブ・サイクルから見る：注目すべき 9 つの新技术](#)
21. [ガートナー、AI におけるハイブサイクル 2025 を発表。AI ...](#)
22. [Definition of Hype Cycle - IT Glossary - Gartner](#)
23. [Generative AI and the Trough of Disillusionment](#)
24. [ハイブ・サイクルで技術の広まりを知ろう | ラーニングアニマル](#)
25. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイブ・サイクルを発表](#)
26. [What Is the Gartner Hype Cycle? | Investing - US News Money](#)
27. [We're In The AI "Trough of Disillusionment" \(and that's Great!\)](#)
28. [Gartner ハイブサイクルとは？Gartner が考案した ...](#)
29. [ガートナー社が発行するハイブ・サイクルとは何か？分析 ...](#)
30. [The hype cycle model: A review and future directions](#)
31. [5 Stages of the Hype Cycle - Peter Diamandis](#)
32. [新規事業開発のハイブサイクル攻略法：失敗を恐れない技術 ...](#)
33. [「Gartner ハイブサイクル 2024 年版」に新たな 5 つの ...](#)
34. [Gartner Hype Cycle Reviews Digital Technology and Trends](#)
35. [Innovation S Curves and Gartner Hype Cycles](#)
36. [ガートナー社のハイブサイクルとは？正しい見方と幻滅期で ...](#)
37. [Gartner、「日本におけるクラウドと AI のハイブ・サイクル ...](#)
38. [What is RAG \(Retrieval-Augmented Generation\)? - AWS](#)
39. [RAG（検索拡張生成）とは？仕組みや活用例、メリットを解説](#)
40. [生成 AI における RAG の最新手法、メリット・デメリット - Zenn](#)
41. [RAG（検索拡張生成）とは？仕組みや生成 AI との関係性を ...](#)
42. [RAG: The Future of Reliable and Accurate Generative AI - Dataversity](#)
43. [What is Retrieval Augmented Generation\(RAG\) in 2025? - Glean](#)
44. [What Is Retrieval-Augmented Generation aka RAG](#)
45. [RAG（検索拡張生成）とは？仕組みや活用例 - 大和総研](#)

46. [RAG \(検索拡張生成\) とは? 生成 AI の精度を向上させる仕組み ...](#)
47. [RAG \(検索拡張生成\) とは? 仕組み・重要性を図解で徹底解説 ...](#)
48. [Retrieval-Augmented Generation \(RAG\) vs. GenAI | Medium](#)
49. [Understanding the working mechanism of RAG - Medium](#)
50. [What is Retrieval-Augmented Generation \(RAG\)?](#)
51. [RAG とは? 仕組みと導入メリット、使用の注意点をわかり ...](#)
52. [RAG \(検索拡張生成\) とは? 仕組みや導入メリット、活用例を ...](#)
53. [RAG \(Retrieval-Augmented Generation\) の仕組みの図解解説](#)
54. [RAG vs. Traditional AI: A Comprehensive Comparison - novus asi](#)
55. [Understanding RAG: 6 Steps of Retrieval Augmented Generation](#)
56. [What is retrieval-augmented generation \(RAG\)? - IBM Research](#)
57. [生成 AI における RAG \(検索拡張生成\) とは? 仕組みや活用例 ...](#)
58. [LLM に代わる RAG とは? 両者の違いや組み合わせるメリット](#)
59. [RAG\(検索拡張生成\)とは? 仕組みからわかる - MSIISM](#)
60. [RAG AI Models vs Traditional AI Models - Kaila.eu](#)
61. [Retrieval-augmented generation - Wikipedia](#)
62. [RAG | 用語解説 | 野村総合研究所\(NRI\)](#)
63. [RAG 生成 AI が AI モデルの未来である理由: 簡単に説明 - SotaTek](#)
64. [【RAG】大規模言語モデルの能力を底上げする技術 ... - キカガク](#)
65. [RAG Systems vs. Traditional Language Models: A New Era of AI ...](#)
66. [Retrieval Augmented Generation \(RAG\) in Azure AI Search](#)
67. [RAG の意味や仕組み、LLM・生成 AI との関連も解説 ... - Fronteo](#)
68. [RAG \(検索拡張生成\) とは? 従来の生成 AI との違いや活用例を ...](#)
69. [What Is Retrieval Augmented Generation \(RAG\)? In-Depth Analysis](#)
70. [What is Retrieval Augmented Generation \(RAG\)? - Databricks](#)
71. [RAG \(Retrieval-Augmented Generation\) とは? 仕組みや ...](#)
72. [RAG とは? 生成 AI との関係や導入メリット・ポイントを解説](#)
73. [Discover RAG: Key Benefits of Retrieval-Augmented Generation](#)
74. [Retrieval Augmented Generation \(RAG\)](#)
75. [AI における RAG \(検索拡張生成\) とは? 仕組みやメリットと ...](#)
76. [RAG in AI: Enhancing Accuracy and Context in AI Responses](#)
77. [A practical guide to Retrieval-Augmented Generation \(RAG\)](#)
78. [RAG とは? 初心者でもわかる生成 AI との関係性と活用方法](#)

79. [15 Pros & Cons of Retrieval Augmented Generation \(RAG\) \[2025\]](#)
80. [What is RAG? Understand the Next Evolution of GenAI - Cohere](#)
81. [RAG とは？仕組みから活用例までわかりやすく解説 - FastLabel](#)
82. [The Advantages of RAG AI \(Retrieval Augmented Generation\) Over ...](#)
83. [Gartner Says Generative AI for Procurement Has Entered the ...](#)
84. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイプ・サイクルを発表](#)
85. [Gartner Hype Cycle for AI: Why Knowledge Graphs ... - LinkedIn](#)
86. [Gartner、「日本における未来志向型インフラ・テクノロジーの ...](#)
87. [AI literacy and the GARTNER's "Trough for Disillusionment."](#)
88. [「RAG」「プラットフォームエンジニアリング」は幻滅期に - IT](#)
89. [Decoding the 2024 AI Landscape Through the Gartner Hype ...](#)
90. [今、生成 AI は『幻滅期』にある。 - S k y 株式会社](#)
91. [Gartner: Generative AI in Trough of Disillusionment](#)
92. ["ガートナーのハイプ・サイクルで、RAG が“幻滅期”入り ... - X](#)
93. [Get AI Ready: Action plan for IT Leaders | Gartner](#)
94. [【2024 年版】Gartner ハイプ・サイクルから見る！注目すべき ...](#)
95. [Gartner: 30% of Enterprises Will Automate More Than Half of ...](#)
96. [Gartner、「日本におけるクラウドと AI のハイプ・サイクル ...](#)
97. [Analysis Of The Gartner Hype Cycle for AI | by Cobus Greyling](#)
98. [Gartner が生成 AI のハイプ・サイクルを発表 RAG などが「過度 ...](#)
99. [Gartner hype cycle - Wikipedia](#)
100. [ガートナー ハイプ・サイクル | ガートナー ジャパン \(Gartner\)](#)
101. [生成 AI、期待のピークを過ぎ「幻滅の谷」へ落ちる](#)
102. [Gartner Hype Cycle Research Methodology](#)
103. [ハイプサイクルのやつの勉強 | JohnnyDEPPU TANAKA - note](#)
104. [ガートナー、「日本における未来志向型インフラ・テクノロジー ...](#)
105. [The Trough Of Disillusionment And Four Outliers On ... - Forbes](#)
106. [生成 AI への期待と幻滅が“同居”--ガートナーが CIO に提示した ...](#)
107. [今後の生成 AI 動向は？Gartner のアナリストが「ハイプ ...](#)
108. [GenAI sinks into the 'trough of disillusionment' - Fierce Network](#)
109. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイプ・サイクルを発表](#)
110. [Generative AI and the Trough of Disillusionment](#)
111. [Gartner ハイプサイクル 2025 が示す未来図 — 過熱と幻滅を ...](#)

112. [We're In The AI "Trough of Disillusionment" \(and that's Great!\)](#)
113. [黎明期にエージェント AI や MCP など 17 項目をプロット ...](#)
114. [Gartner、「日本におけるクラウドと AI のハイプ・サイクル](#)
115. [「RAG」「プラットフォームエンジニアリング」は幻滅期に - IT](#)
116. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイプ・サイクルを発表](#)
117. [Gartner、「日本におけるクラウドと AI のハイプ・サイクル ...](#)
118. [AI エージェントは「過度な期待」 Gartner、ハイプサイクル ...](#)
119. [黎明期にエージェント AI や MCP など 17 項目をプロット ...](#)
120. [JDMC - X](#)
121. [ガートナージャパン、「日本におけるクラウドと AI のハイプ ...](#)
122. [大将 on X: "Gartner のハイプサイクルで RAG が幻滅期に入っ ...](#)
123. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイプ・サイクルを発表](#)
124. [「RAG」「プラットフォームエンジニアリング」は幻滅期に ガートナーがクラウドと AI のハイプサイクルを發表 : 流行る AI エージェントの影に“ウォッシング” - @IT](#)
125. [Crawl failed](#)
126. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイプ・サイクルを発表](#)
127. [Gartner: Generative AI in Trough of Disillusionment](#)
128. [「RAG」「プラットフォームエンジニアリング」は幻滅期に - IT](#)
129. [AI literacy and the GARTNER's "Trough for Disillusionment."](#)
130. ["ガートナーのハイプ・サイクルで、RAG が“幻滅期”入り ... - X](#)
131. [GenAI sinks into the 'trough of disillusionment' - Fierce Network](#)
132. [Gartner、「日本におけるクラウドと AI のハイプ・サイクル ...](#)
133. [Decoding the 2024 AI Landscape Through the Gartner Hype ...](#)
134. [ガートナー ハイプ・サイクル | ガートナージャパン \(Gartner\)](#)
135. [Gartner Hype Cycle for AI: Why Knowledge Graphs ... - LinkedIn](#)
136. [ハイプサイクルのやつの勉強 | JohnnyDEPPU TANAKA - note](#)
137. [How to Improve and Optimize Retrieval-Augmented ... - Gartner](#)
138. [生成 AI への期待と幻滅が“同居”--ガートナーが CIO に提示した ...](#)
139. [I analyzed 4 years of Gartner's AI hype so you don't make a ...](#)
140. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイプ・サイクルを発表](#)
141. [Getting Started With Retrieval Augmented Generation - Gartner](#)
142. [Gartner ハイプサイクル 2025 が示す未来図 — 過熱と幻滅を ...](#)
143. [Is Generative AI in the Trough of Disillusionment - LinkedIn](#)

144. [黎明期にエージェント AI や MCP など 17 項目をプロット ...](#)
145. [Gartner Hype Cycle for Generative AI - Databricks](#)
146. [Gartner、「日本におけるクラウドと AI のハイブ・サイクル：2025 年」を発表—AI エージェントが”過度な期待”のピークに、RAG は幻滅期へ | Ledge.ai](#)
147. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイブ・サイクルを発表、RAG は「幻滅期」に | 日経クロステック \(xTECH\)](#)
148. [Retrieval-Augmented Generation \(RAG\) とは？](#)
149. [RAG \(Retrieval Augmented Generation\) の概要 - Zenn](#)
150. [生成 AI における RAG の最新手法、メリット・デメリット - Zenn](#)
151. [RAG \(Retrieval Augmented Generation\) とは？仕組みや活用 ...](#)
152. [RAG | 用語解説 | 野村総合研究所\(NRI\)](#)
153. [RAG \(検索拡張生成\) とは？生成 AI の精度を向上させる仕組み ...](#)
154. [RAG \(Retrieval-Augmented Generation\) とは？仕組みや ...](#)
155. [RAG \(Retrieval Augmented Generation\) とは？メリットや ...](#)
156. [AI における RAG \(検索拡張生成\) とは？仕組みやメリットと ...](#)
157. [RAG とは？仕組みと導入メリット、使用の注意点をわかり ...](#)
158. [幻覚から精度へ：RAG \(Retrieval Augmented Generation\) が ...](#)
159. [RAG \(検索拡張生成\) とは？従来の生成 AI との違いや活用例を ...](#)
160. [RAG \(Retrieval-Augmented Generation：検索拡張生成\) とは ...](#)
161. [生成 AI を最適化する「RAG \(Retrieval-Augmented Generation](#)
162. [LLM に代わる RAG とは？両者の違いや組み合わせるメリット](#)
163. [RAG \(Retrieval-Augmented Generation\) の使い方と活用方法](#)
164. [RAG \(検索拡張生成\) とは？仕組みや活用例、メリットを解説](#)
165. [RAG \(検索拡張生成\) とは？仕組みや活用例 - 大和総研](#)
166. [生成 AI に注目の「RAG \(Retrieval-Augmented ... - BizDev Tech](#)
167. [RAG \(Retrieval-Augmented Generation\) 入門 | えんぞう - note](#)
168. [RAG とは？初心者でもわかる生成 AI との関係性と活用方法](#)
169. [Retrieval Augmented Generation: 2024 年の AI 革新 - Glean](#)
170. [検索拡張生成 \(RAG\) とは | Google Cloud](#)
171. [RAG で直面する 3 つの課題！データ品質、検索精度 - OfficeBot](#)
172. [RAG の評価方法について | コラム | クラウドソリューション](#)
173. [RAG 導入の課題と対策：セキュリティ・精度・運用 | Kaopiz](#)

174. [第4回 生成 AI の精度を高める「RAG」 - BCG Japan](#)
175. [RAG の精度向上ガイド：評価の手法と具体的な改善方法](#)
176. [「RAG」は本当に簡単？見えない落とし穴と成功への道筋 - note](#)
177. [技術調査 - RAG の精度向上戦略 - Zenn](#)
178. [RAG の課題とは？ 過大評価のリスクや RAG が抱える問題の ...](#)
179. [RAG のデメリットとは？導入前に知るべき 5 つの課題と対策](#)
180. [RAG の精度を向上させる Advanced RAG on AWS の道標](#)
181. [RAG の評価：評価の必要性和問題点 - Beatrust techBlog](#)
182. [RAG（検索拡張生成）の開発費用！内訳や失敗しない会社の ...](#)
183. [【RAG で社内情報を活用！？】ベクトル検索精度の課題と試し ...](#)
184. [あらゆる分野の RAG の性能を評価する手法 RAGEval - Zenn](#)
185. [RAG 導入の費用対効果を上げるには？原因・精度改善の重要性 ...](#)
186. [生成 AI の精度を高める RAG（検索拡張生成）とは？仕組みや ...](#)
187. [RAG の精度評価とは？検索拡張生成 AI の性能を測る方法](#)
188. [RAG と ChatGPT で業務効率化が進化する！導入メリット ...](#)
189. [RAG の精度はどう上げる？ RAG の精度向上のメリットとコツ ...](#)
190. [【RAG 評価手法】評価できないものは改善できない！？体系的 ...](#)
191. [RAG とは？生成 AI を強化する RAG 技術の概要と活用方法](#)
192. [RAG の精度向上に悩んだら、「Advanced RAG」で解決できます](#)
193. [【論文紹介】RAGAS：RAG 性能を自動的に評価する - Zenn](#)
194. [RAG の運用に困ったら？HeatWave GenAI のすすめ - ラック](#)
195. [RAG とは？AI の検索精度を高める注目技術をわかりやすく解説](#)
196. [RAG（検索拡張生成）とは？仕組みや活用例 - 大和総研](#)
197. [RAG の精度向上術：企業導入の課題と解決策 - NTT 東日本](#)
198. [ハルシネーションの対策 5 選！プロンプトも紹介 - SIGNATE 総研](#)
199. [AI エージェントは「過度な期待」 Gartner、ハイブサイクル ...](#)
200. [AI のハルシネーション問題は RAG で解決できる！RAG とは何 ...](#)
201. [Gartner、「日本における未来志向型インフラ・テクノロジーの ...](#)
202. [RAG とは？生成 AI のウソ「ハルシネーション」を解消できる？](#)
203. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイブ・サイクルを発表](#)
204. [ハルシネーションを克服せよ：RAG による AI 回答の信頼性向上策](#)
205. [RAG 導入の覚悟とは - Arpable](#)

206. [RAG のハルシネーション対策をする手法「Astute RAG」 - Zenn](#)
207. [RAG プロジェクトの成功に導くビジネス戦略：期待値管理と ...](#)
208. [生成 AI のハルシネーションはなぜ発生する？原因と即実践 ...](#)
209. [今、生成 AI は『幻滅期』にある。 - S k y 株式会社](#)
210. [AI の嘘を見破れ！「ハルシネーション」の核心に迫る：原因](#)
211. [RAG 導入の成功と失敗の分岐点：過剰な期待とデータ前処理の ...](#)
212. [AI がハルシネーションを起こす原因は？ RAG との関連性も ...](#)
213. [生成 AI は今年度も「過度な期待」のピーク期 ～ガートナー ...](#)
214. [RAG のウソを検知する新手法（LLM-as-a-Judge を超えて）](#)
215. [Gartner、「日本におけるクラウドと AI のハイブ・サイクル ...](#)
216. [【生成 AI 活用】ハルシネーションへの効果的な対策方法とは？](#)
217. [生成 AI、期待のピークを過ぎ「幻滅の谷」へ落ちる](#)
218. [RAG は「過度な期待のピーク」、未来志向型技術のハイブ ...](#)
219. [生成 AI は今年度も「過度な期待」のピーク期 ～ガートナー ...](#)
220. [Gartner、「日本における未来志向型インフラ・テクノロジーの ...](#)
221. [ガートナーが日本のクラウドと AI のハイブ・サイクルを発表](#)
222. [「RAG」「プラットフォームエンジニアリング」は幻滅期に - IT](#)
223. [「Gartner ハイブサイクル 2024 年版」に新たな 5 つの ...](#)
224. [ハイブサイクル比較 2023 年 vs. 2024 年 | Mobile Internet Capital](#)
225. [2025 年、RAG 技術の中間レビュー - Zenn](#)
226. [ガートナー ハイブ・サイクル | ガートナー ジャパン \(Gartner\)](#)
227. [今後 5 年以内に大半の生成 AI 技術が「主流の採用」へ ...](#)